

指定管理者に関するモニタリングシート

黄色のセルを施設担当課が記入

1 施設の概要

(モニタリング実施年度: 令和 2 年度)

施設の名称	東大阪市立岩田斎場 東大阪市立額田斎場		指定期間	30 年度～	1 年度
			指定の方法	複数施設を一括指定管理	
施設所管課	健康部斎場管理課		連絡先	06-4309-3192	
設置目的	葬儀や火葬が公衆衛生上その他住民の福祉の見地から支障なく執り行われる施設として設置				
施設内容・業務内容等	火葬業務及び施設の維持管理業務				
指定管理者	NSK株式会社		連絡先	059-359-7670	
人員体制	正規職員	7 人	パート・アルバイト	人	その他 人

2 管理運営状況等

年度	実績			今年度(予算)	次年度(見込)
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 1 年度	令和 2 年度	令和 3 年度
管理形態	市の直営	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
供用(開館)日数	岩田:284日 額田:278日	岩田:363日 額田:347日	岩田:363日 額田:347日	岩田:364日 額田:364日 荒本:約250日	岩田:364日 額田:364日 荒本:約250日
指定管理委託料(千円)	-	53,140千円	52,683千円	57,937千円(予定)	57,937千円(予定)
利用状況指標	1 火葬件数(件)	岩田:364件 額田:832件	岩田:701件 額田:1,127件	岩田:714件 額田:1,259件	補足説明 令和2年度より荒本斎場も指定管理施設
	2				補足説明
	3				補足説明

3 モニタリングの総括

「個別評価」(自動表示): S=チェック項目が全てO、A=×がなく「得点」が中間点以上、
 B=×がなく中間点未満あるいは×が1個で「得点」が中間点以上、C=×が2個以上。
 「最終評価」(任意決定): 個別の評価結果を踏まえて、評価者の裁量で決定する。

モニタリングの観点	施設担当課のモニタリング	
	個別評価 S A B C	評価できる点や要改善事項
A 行政視点 施設の設置目的が達成でき、事業の継続性が期待されるとともに、市民の安全の確保が図られているか？	A	施設の設置目的を十分に果たしており、また協定書を基本としながらも柔軟な施設運営を継続できていた。しかしながら、前年度に課題であった報告書類等についての対応は改善が見られず、指定管理者の提出・作成書類としては水準が低いので改善を求めたい。
B 管理・運営能力 人員・予算等の資源を管理し、快適に施設や設備等を利用できる環境を整備しているか？	S	供用日数や火葬件数については前年度と同様に多い状態であるが、前年度に引き続き安定した運営を行っていた。
C サービス 平等な利用の確保及びサービス向上が図られているか？	A	一般の火葬の他、死胎や身体の一部など幅広い需要に答えることができている。接遇やマナー等についても利用者の満足度は高いと言える。
D 市民視点 市民の声が反映される管理・運営が行われているか？	B	利用者の意見を聴くためにアンケート箱などを設けてはいるが、その管理方法や収集方法等について一定の検討が必要である。また、得られた利用者の意見などを市と共有することがなく、少なからず改善が必要である。
E 効果・効率性 施設の効果を最大限発揮しようとするとともに、管理経費の縮減が図られているか？	A	利用件数については、高止まりしているが、問題なく施設運営ができています。施設間でも連携がとれ、一方の施設で何か起きた際の協力体制が容易に可能であるなどの面でも有効であり、2施設の指定管理者としての効率性を発揮できている。
F 法令等遵守 法令や各種規則等を理解し、遵守することで、社会的責任を果たしているか？	A	法令や各種規制等について順守しながらも柔軟に施設の運営ができていた。今後、火葬件数が増えることを鑑みると、個人情報やプライバシーマークを取得するなど、引き続き情報管理の意識向上に努められたい。
課題への対応 今後の取組	最終評価 (任意設定) A	施設の運営管理については、特段の問題もなく、質の高いサービスの提供ができています。しかしながら、現場と管理部門の連携が浅いのか、指定管理者として受託施設の状況認識が不十分であるように見受けられるので、安定した運営を続けるために改善が必要と考えられる。